**2 データの中心**

**問題１**

　平均値、中央値、最頻値は、量的変数の分布の中心的な傾向を表す値である。

　平均値、中央値の説明は14ページに、最頻値の説明は10ページに記述してある。

　また、３つの値と分布の形状については、17ページに記述してある。

**解答**　③

**問題２**

カード所有枚数の平均値は、算術平均を求めることにある。実際の計算は、20名全員の所有枚数を加算して、人数である20で除した値である。

平均値を求める式の説明は、14ページに記述してある。

**解答　２.4**

**問題３**

　中央値は外れ値の影響を受けないのであって、求めるときに除外するものではない。

　サンプル数が偶数の場合に、中央値が実際にない値をとることがある。

　中央値の求め方は、14ページに記述してある。

**解答３　③**